

# 平成14年度決算のポイントをお知らせします

平成14年度、市のお金がどのように使われたかをご理解いただくため、一般会計決算をお知らせします。市報7月20日号では概要を載せましたが、今回はポイントを絞り、歳出の個別事業について特徴をあげながらお知らせします。

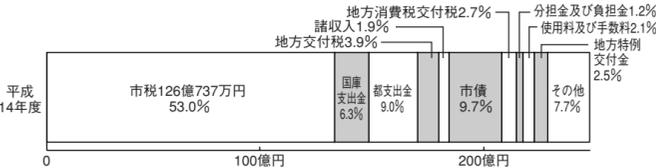
なお、平成14年度の「事務報告書」「決算書」「決算審査意見書」が、市役所情報公開コーナー、図書館、公民館、北・南市民プラザで、閲覧できます。

行政管理課財政係 (内)223

## 歳入 237億8,957万円

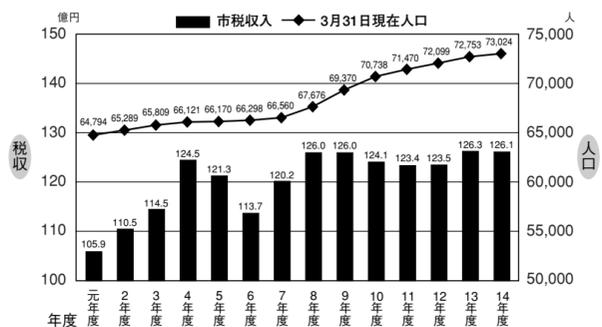
《歳入の内訳（一般会計）》

平成2年度には、一般会計の歳入の約6割を占めていた市税の割合は、平成14年度決算で、減税や景気の影響により5割程度となっています。



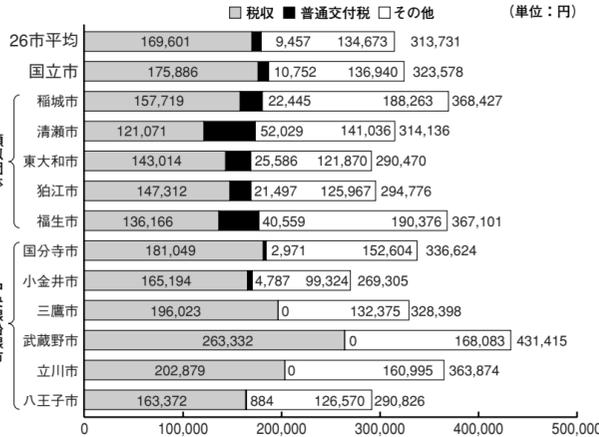
《人口と市税収入の推移》

平成8年度以降、人口が増加していますが、市税収入は横ばい傾向となっています。前年度に対しては約2,000万円減少しました。



《市民1人当たりの歳入 他市との比較》

グラフは、中央線沿線市や国立市と人口等の規模の類似している市と比較したものです。市民1人当たりの歳入は、高い市では約27万円とかなりの差があります。(14年度決算統計より)※国立市は26市中高い方から数えて10番目となります。



注) 決算統計(国への報告数値を記載)では、住民基本台帳人口(外国人登録含まず)を使っています。

## 教育のまち～教育を尊重するまちづくり～

### 教育費

◎小学校の管理運営経費 6億8,885万円【9,433円】

■1校当たり 8,611万円

※都から給与が支給される教職員分は入っていません。

(財源: 国・都補助金1億2,287万円、地方債2,930万円、公共施設整備基金繰入金2,100万円、一般財源5億840万円)

◎中学校の管理運営経費 2億2,294万円【3,053円】

■1校当たり 7,431万円

※都から給与が支給される教職員分は入っていません。

(財源: 国・都補助金545万円、一般財源2億1,749万円)

◎くにたち文化・スポーツ振興財団関係経費

4億3,477万円【5,954円】

市民芸術小ホール、市民総合体育館、郷土文化館の管理運営費として、委託料、補助金を支出しました。

(財源: 施設使用料4,794万円、一般財源3億8,654万円)

◎図書館の管理運営経費 2億5,826万円【3,537円】

■蔵書: 35万1,934冊 ■貸し出し: 市民1人当たり7.1冊

(財源: 都補助金249万円、図書館コピー代61万円、一般財源2億5,506万円)

◎私立幼稚園園児保護者等補助事業 1億901万円【1,493円】

保護者の負担を軽減し、教育の充実を図るため、補助金の支出をしました。

■主な支出

私立幼稚園園児保護者負担軽減事業費補助金 延べ14,272人(月平均1,189人) 6,874万円

私立幼稚園就園奨励費補助金 462人 3,224万円

私立幼稚園等運営費補助金 605万円

(財源: 国・都補助金3,501万円、一般財源7,400万円)

## 平成14年度の市のお金はこのように使われました

～一般会計の主な事業と経費～

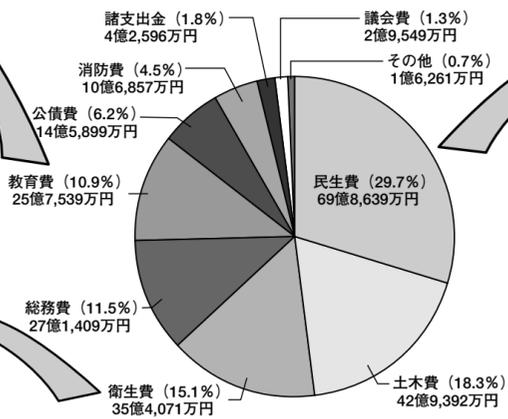
注: ◆( )の財源のうち、一般財源とは、市民税、固定資産税、地方交付税などで、使い道が特定されず、どのような経費にも使用できる収入のことです。

◆国や都の補助金、使用料・手数料、利用者負担金、地方債など、あらかじめ使い道が特定されている収入を特定財源といいます。

ポイント: 国立市は、一般財源のうち、おおよそ4分の3が市税です。市民の皆さんには市税の使い道として、財源のうち特に一般財源と地方債(償還は、後年度に市税などの一般財源から負担することになります)に注目して、読んでみてください。

※【 】は、市民1人当たりの経費で、総事業費を平成15年3月末現在の外国人登録を含む人口73,024人で割ったものです(1円未満は、四捨五入)。

## 歳出 235億2,212万円



## 環境のまち～環境を大切にすまちづくり～

### 衛生費

市民1人当たりのごみに係る経費は、年額34,396円(し尿処理費除く)

◎ごみ収集作業に係る経費 3億5,082万円【4,804円】

ごみ収集委託料2億8,941万円、資源回収推進奨励金1,604万円、美化推進委託料1,098万円などを支出しました。

■ごみ収集量(単位: トン)

区分	可燃ごみ	不燃ごみ	プラスチック	粗大ごみ	資源物	有害物	計
収集量	12,517	1,403	1,115	376	5,052	24	20,487
持込料	4,095	90	0	216	43	0	4,444
合計	16,612	1,493	1,115	592	5,095	24	24,931

(財源: 都補助金2,099万円、ごみ処理手数料等1億6,751万円、一般財源1億6,232万円)

◎ごみ最終処分に係る経費 2億1,956万円【3,007円】

日の出町にある広域処分場へ埋め立てるための搬入のほか、有害物処理などをしました。

■広域処分場への年間搬入状況

種別	処分量(トン)	搬入台数(台)
焼却後の灰	1,120	112
不燃物	155	49
計	1,275	161

■三多摩地域廃棄物広域処分組合負担金 1億6,023万円、不燃・粗大ごみ運搬委託料 3,369万円など

(財源: 都補助金2,100万円、一般財源1億9,856万円)

◎多摩川衛生組合関係経費 14億6,540万円【20,067円】

可燃ごみの安定的処理のため平成11年4月1日から多摩川衛生組合に加入しました。

搬入量	19,249トン
焼却量	19,208トン
鉄回収量	41トン

■多摩川衛生組合への年間搬入状況

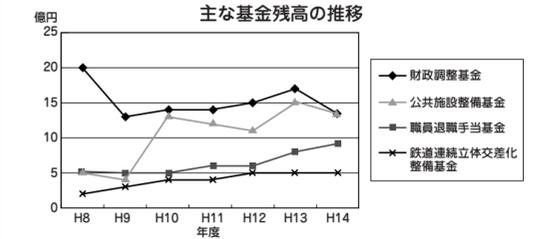
■多摩川衛生組合負担金 12億2,940万円 稲城市環境整備費負担金 2億3,600万円

(財源: 都補助金6,700万円、地方債5,300万円、公共施設整備基金繰入金1億7,800万円、一般財源11億6,740万円)

### 基金(市の貯金)

平成14年度末の市の貯金(基金)は合計55億8,215万円で、市民1人当たりの貯金は約7万6千円になります。

基金の中で多いのは財政調整基金 12億6,721万円で、これはいざというときのために積み立てた貯金にあたります。市の借入金(市債残高)から市の貯金(基金残高)を差し引いた実質的な借金残高は、市民1人当たり約41万1千円となります。



### 公債費

◎地方債の元利償還金 14億5,831万円【19,970円】

建設経費の財源や減税による税収減補てんなどのため、国や東京都などから過去に借り入れた長期の借入金(地方債)の元金と利子を支払いました。

(財源: 谷保緑地建設事業費負担金3,778万円、一般財源14億2,053万円)

### 諸支出金

◎基金積立金 3億9,834万円【5,455円】

さまざまな目的のために積み立てている資金(基金)の元金や利子を積み立てました。特に、将来の支出に備え、財政調整基金や職員退職手当基金に元金の積み立てを行いました。

※左の「主な基金残高の推移」グラフも参考にしてください。

(財源: 開発行為に伴う財政協力金1,983万円、受託水道事業特別会計繰入金2,020万円、多摩らいふ関係交付金2,260万円、基金利子301万円、清化園衛生組合職員配転交付金3,070万円、一般財源3億200万円)

### 消防費

◎東京都消防委託金 9億9,221万円【13,587円】

国立市内の常備消防(立川消防署の2カ所の出張所)について、東京都との協定に基づき委託金を支払いました。

■常備消防の出動状況

火災 31件、救急2,956件(救急は、平成14年1月～12月分)

(財源: 都補助金1億円、一般財源8億9,221万円)

### 総務費

◎コミュニティバスの運行経費 3,085万円【422円】

コミュニティバス「くにく」の運行を、平成15年3月8日から開始しました。

■利用状況

運行日数 24日 利用者合計数8,112人 一日当たりの利用者数338人

■車両購入費 1,941万円 ■運行経費補助金 371万円 (財源: 都補助金1,034万円、一般財源2,051万円)

## 発展するまち～個性と活気があふれるまちづくり～

### 土木費

◎下水道事業特別会計繰入金 16億9,264万円【23,179円】

公債費(下水道施設建設のための地方債の元利償還金)の財源として14億4,281万円、雨水処理経費として2億682万円などについて、繰り出し(他の会計への支出)をしました。

(財源: 全て一般財源)

◎中央線連続立体交差事業負担金 1億9,837万円【2,716円】

※東京都への負担金総額は、53億円にのぼり、今後工事の進捗により負担額が増加する見込みです。

(財源: 都補助金5,100万円、地方債9,500万円、一般財源5,237万円)

◎公園の整備・管理 1億6,222万円【2,222円】

谷保第三公園トイレ建替工事1,995万円、谷保第四公園噴水設備改修工事924万円などをしました。

(財源: 都補助金1,560万円、公園等使用料1,417万円、一般財源1億3,245万円)

◎ホームヘルパーの派遣 2億6,787万円【3,668円】

常時介護を必要とする障害のある方の世帯や、障害で日常生活に支障のある高齢者の方を、ホームヘルパーが訪問し家事や介護など、日常生活のお手伝いをしました。

	派遣世帯	派遣回数	派遣延べ時間
生活支援ヘルパー	59世帯	2,805回	5,543時間
心身障害者(児)	75世帯	11,613回	36,299.5時間
全身性介護人	44世帯	16,252回	99,788.5時間
精神障害者ヘルパー	10世帯	625回	1,311.5時間

■利用1世帯当たり 約142万円

(財源: 国・都補助金2億1,208万円、利用者負担金94万円、一般財源5,485万円)

◎心身障害者(児)福祉手当 2億674万円【2,831円】

■受給者数 1,277人

■受給者1人当たり 約16万円

(財源: 都負担金1億3,250万円、一般財源7,424万円)

◎国民健康保険特別会計繰入金 6億5,000万円【8,901円】

主に、赤字分の補てんのため4億3,655万円、人件費および事務費として1億1,733万円繰り出し(他の会計への支出)しました。

■被保険世帯数 14,366世帯 ■被保険者数 25,545人

(財源: 国・都負担金5,649万円、一般財源5億9,351万円)

◎保育所での保育 19億4,527万円【26,639円】

0歳児から5歳児までの児童を市内(11園)および市外(28園)の保育所で保育しました。

■平成14年度月平均入所児童数 合計 1,108人

0歳児 82人 1歳児 138人 2歳児 200人 3歳児 226人 4歳児 227人 5歳児 235人

■入所児童1人当たり 約176万円(うち約23万円は本人負担)

(財源: 国・都支出金6億6,394万円、本人等負担金2億5,344万円、一般財源10億2,789万円)

◎学童保育所の運営 1億5,146万円【2,074円】

小学校1年生から3年生までの留守家庭の学童を、放課後や休み期間中に学童保育所で預かり、健全育成しました。

■学童保育所設置数 7カ所 ■在籍児童数 479人

■在籍児童1人当たり 約32万円(うち約3万円は本人負担)

(財源: 都補助金2,248万円、本人負担金1,360万円、一般財源1億1,538万円)

◎乳幼児医療費助成 1億1,811万円【1,617円】

乳幼児を養育している方に対し、医療費の一部を助成しました。

(財源: 都補助金6,086万円、一般財源5,725万円)